

寒川町岡田遺跡 116 住居址「釣手土器」について

2016年 3月 19日

寒川町文化財学習センターで学ぶ会 編

1. はじめに

寒川町岡田遺跡から深鉢を始め、大量(コンテナ 800 箱)の土器が発見されています。しかし、釣手土器は 3 点しか出土していません。全国でみても 2010 年現在 440 例しかなく、更に 116 住居址の釣手土器と同じ I 期の釣手土器は 58 例しかありません(*1)。更に、58 例はそれぞれ独自の形をしており、「ほぼ同じ」という釣手土器は 2 つとありません。日常使う土器とは考えられず、恐らく祭祀に使ったであろう、という説が有力です。

ここでは、116 住居址釣手土器と他の釣手土器との類似点相違点について考えます。

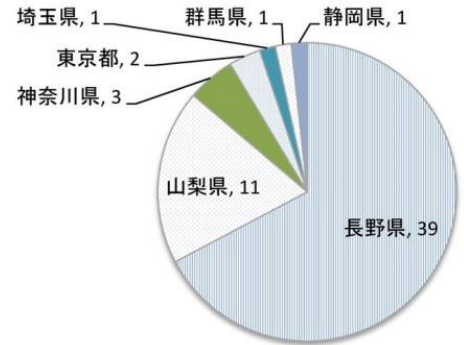


図 1: I 期 58 例の県別内訳

2. 出土した場所

岡田遺跡には、少なくとも a, b, c 3 つの集落があったと推定されています(*6)。釣手土器と集落の関係を表 1 に示します。集落と釣手土器は必ずしも一対一ではありませんが、数の少なさ、特徴ある形などから、日用品ではなく、集落単位の行事(祭祀)で使われたと推測されます。

表 1: 出土した集落と釣手土器

集落	住居番号	釣手土器制作時期	釣手土器	展示・保管場所
a	116 (a 集落の南東寄り、または b 集落の南西端)	I 期 {藤内(勝坂 II)式期～ 曾利 I 式期}		文化財学習センター
b	6 (集落中央よりやや南東寄り)	III 期 (曾利 III 式期以降)	 (*17)	寒川神社 方徳資料館
c	212 (集落の西端)	II 期 (曾利 II 式期)		文化財学習センター

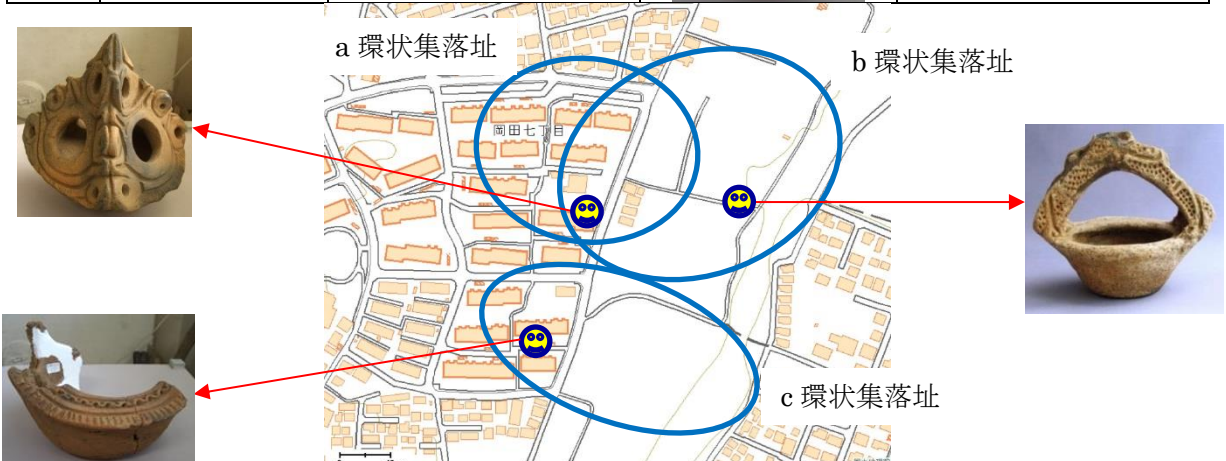


図 2: 釣手土器が出土した住居址の位置(*6,*7,*8,*9)

3. 他の釣手土器との類似点相違点

116号住居址釣手土器と同時期の釣手土器が2010年現在58点出土しています(*1)。表2はその一部です。

表2：I期の釣手土器の例

 諏訪市 穴場遺跡 高 21 cm	 甲州市(旧塩山市) 北原遺跡	 南佐久郡川上村 大深山遺跡 高さ 28.7cm 径 28.5cm	 南佐久郡川上村 大深山遺跡 高さ 19.0cm 径 20.0cm	 諏訪郡富士見町 曾利遺跡(29号) 高 22.4cm
 三島市 観音洞(かんのんぼら)遺跡	 長野県 井戸尻遺跡(3号)	 小田原市 久野一本松遺跡	 伊勢原市 御伊勢森遺跡	 高座郡寒川町 岡田遺跡 116
 伊那市下新田 御殿場遺跡 国重要文化財	 諏訪郡富士見町 曾利遺跡(29号)	 諏訪郡原村 前尾根遺跡		

表2の中から岡田遺跡116に比較的近いと思われるものとの類似点相違点を表3に挙げてみました。

表3：116号住居址釣手土器の類似点相違点

No	分類	A	B	C	D	
		寒川町 岡田遺跡 116	伊勢原市 御伊勢森遺跡	長野県 大深山遺跡	長野県 曾利遺跡	
1	大きさ	高さ	21.7cm		19cm	36cm
2		幅・径	22.0cm		20cm	
3	重さ		2.01kg			
4	全体の形		鉢の上に三角錐	鉢の上に三角錐。但し、一辺は直角。	鉢の上に三角錐	鉢の上に三角錐 顔面付
5	窓		小2つ大1つ	小2つ大1つ	小2つ大1つ	小2つ大1つ
6	面		3面ほぼ同じデザイン	2面同じ	2面同じ	2面同じ
7	模様		3面丸	3面丸	2面猪、1面丸	2面蛇、1面丸
8	作り方		三面張り合わせ	二面張り合わせ?	三面張り合わせ	三面張り合わせ

(1)大きさ

多少の違いはありますが、表3以外の釣手土器も、顔面付を除き、手のひら大(20cm前後)が多いです。ドンブリを持つように、両手で下から支え持つのに具合の良い大きさです。

(2)全体の形

鉢の上に三角錐が乗っています。ただし、正三角錐ではなく、一辺が長く、長い辺の窓が大きくなっています。

(3)面

岡田遺跡 116 は 3 面とも同じデザインです。図 6 の b,e,g は傾斜角が違うとか、中央の丸の大きさが違うなど、多少の違いはあるものの、ほぼ同じ形をしています。そのため、横から見ると似た顔形になっています。(図 6-a,c,f—c と f は片目が大きく細面で愛嬌のある顔)

このように 3 面が同じデザインの釣手土器は岡田遺跡 116 以外に見つかっていません。

(4)模様

古いものは猪が飾りとして着いていました。少し新しくなると、図 3/4 のように、猪を抽象化し、丸で表すようになります(*2)。さらに時代が進むと頂点に顔が付く図 5 の形が現れます。

岡田遺跡 116 の場合、猪を表す丸だけでできています。時代的には図 3/4 と図 5 の間になると思われます。

(5)作り方

図 3、図 4 は少なくとも 1 面は違う形で、細かい飾りが着いています。作る手間は多くかかったと思われます。一方、岡田遺跡 116 は鉢の上に(3)で述べた通り、ほぼ同じ形の 3 つの三角形を貼り合わせたような作りになっています。

釣手土器は 2 つとして同じ形のものはなく、他の土器に比べ数が限られています。特別な用途の土器であり、大量生産的手法は必要なかったと思われますが、あたかも大量生産品的な作り方が特徴です。

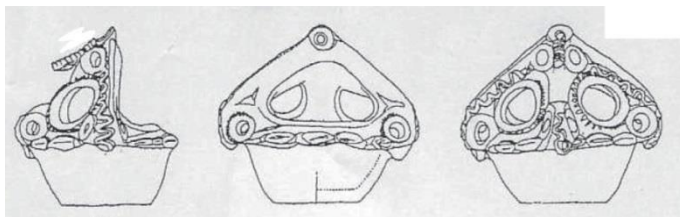


図 3 : 伊勢原市御伊勢森遺跡(*19)



図 4 : 長野県大深山遺跡(*21,*23)

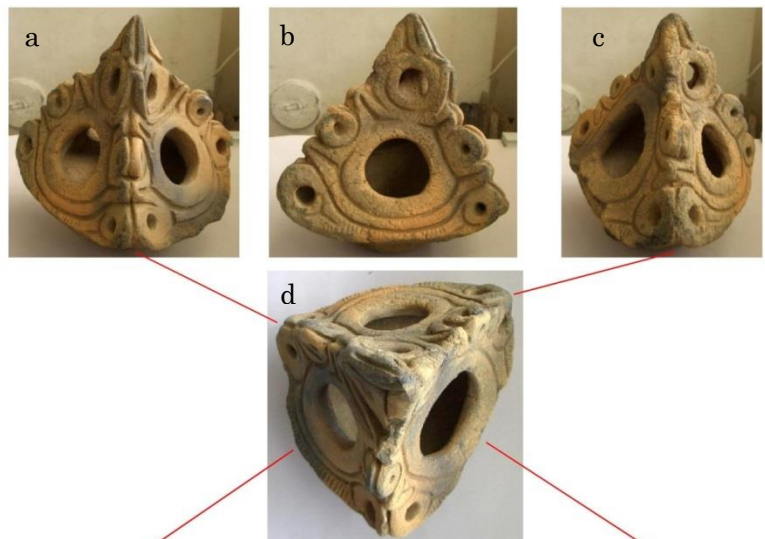


図 5 : 長野県曾利遺跡(*22)



図 6 : 岡田遺跡 116 住居址釣手土器

4. 釣手土器の用途

釣手土器は何のために使われたのか不明点が多いのですが、これまで取り上げられた説を岡田遺跡 116 に当てはめてみると表 4 のようになります。いずれの説も該当しません。ただし、土器内で火を灯す形状や猪をモチーフにした柄が使われていることから、子孫繁栄や豊作祈願の祭祀に使われたと推測されます。

表 4：釣手土器の用途

No	想定される用途	岡田遺跡 116 の場合
1	吊り下げて祭祀で使った。(*4)	頭頂部の穴に紐で擦れた痕跡なし。土器の中で火を焚いても燃えない素材で、2kg の重さに耐える紐があったか疑問。祭祀に使ったとしても置いて使ったのではないか。
2	住居廃絶儀式用。(*3)	祭祀に必要な石棒、石皿等が出土していない(図 7)。石器は出土しているが、住居廃絶儀式用ではなく、出土時の配置も不明。
3	火神を宿す母神を表わす祭祀用。(*5)	顔面付土器ではないので、本件は該当しない。

[住居廃絶儀式]

儀式の後、住み終えた家に火を付けて燃やす。石棒、釣手土器、石皿、石碗、凹石等が意味を持って置かれ、炭が一連の遺物を覆っている。



図 7：岡田遺跡 116 住居址出土石器(*7)

[出典/参考資料]

- *1：史葉 第 3 号 2010.5 「釣手土器の展開過程 一造形の継承と変容一」國學院大學 中村耕作
- *2：山梨県埋蔵文化財センター研究紀要 vol.23 2007 年 3 月 31 日 発行
- *3：'82 諏訪市文化財報告 穴場 ANABA I 長野県諏訪市穴場遺跡第 5 次発掘調査報告書 1983.3
- *4：山梨県埋蔵文化財センター研究紀要 18 2002 年
- *5：吉田敦彦「縄文の神話」
- *6：寒川町史 8 別編 考古 1996.11
- *7：岡田遺跡発掘調査報告書：神奈川県高座郡寒川町 県営岡田団地内遺跡発掘調査団編 1993
- *8：岡田遺跡範囲確認調査報告書：神奈川県高座郡寒川町 岡田遺跡発掘調査団編 1993
- *9：岡田遺跡 発掘調査報告書：高座郡・寒川町 寒川町岡田遺跡発掘調査団編 1999
- *10：平成 24 年度かながわの遺跡展・巡回展 「勝坂縄文展」平成 24(2012)年 12 月 15 日発行
<http://www.pref.kanagawa.jp/uploaded/attachment/708914.pdf>
- *11：縄文土器大成 2 - 中期 1981.7.15 編集 永峯光一 発行 講談社
- *12：曾利 第三、四、五次発掘調査報告書 1978 年 3 月 発行 富士見町教育委員会 長野県諏訪郡富士見町
- *13：埋蔵文化財センター_遺跡トピックス No.0281 美通遺跡
<http://www.pref.yamanashi.jp/maizou-bnk/topics/201-300/0281.html>
- *14：全国遺跡報告総覧
<http://sitereports.nabunken.go.jp/ja>
- *15：NPO 法人国際縄文学協会
<https://www.jomon.or.jp/archives/115.html>
- *16：原村デジタルミュージアム
<http://www.vill.hara.nagano.jp/www/photo/detail.jsp?id=980>
- *17：寒川町 岡田遺跡出土遺物（縄文土器）
<http://www.town.samukawa.kanagawa.jp/chosei/bunkazai/shiryoukan/maizou/1361238133689.html>
- *18：獣頭裝飾付香炉形土器 縄文中期 長野県諏訪市 穴場遺跡出土
<http://www.lcv.ne.jp/~johmon/el/jtss.html>
- *19：釣手土器について 資料 4-1 寒川町
http://www.town.samukawa.kanagawa.jp/ikkrwebBrowse/material/files/group/27/siryoy4_bunka_24_1.pdf
- *20：文化遺産オンライン 顔面付釣手形土器／長野県伊那市富県御殿場遺跡出土
<http://bunka.nii.ac.jp/heritages/detail/158078>
- *21：大深山遺跡 2002.5.6 (月) 長野県川上村
<http://inoues.net/ruins/mifukayama.html>
- *22：縄文の世界像
<http://ameblo.jp/mahora561/entry-11429610247.html>
- *23：長野県IV {諏訪市、岡谷市}
<http://www.kt-moriyama.sakura.ne.jp/nagano4.html>
- *24：(第 141 号) ～縄文時代のランプ～観音洞遺跡出土の釣手土器(平成 12 年 2 月 1 日号)
<https://www.city.mishima.shizuoka.jp/ipn000092.html>